

For Adult



僕の彼女はセーラー戦士



僕の彼女は
セーラー戦士

■ 2006, SUMMER ■ 小鳥事務所 ■

今日も…
また上司に
叱られてしまった…

全く酷い話だ…
契約を取るためなら
多少の嘘も方便だ…か

同僚は平気で
その嘘を重ねてる様だ

でも…仕事とはいえ
人を騙し続けるなんて
僕には耐えられない…

…
一体
どうすれば…

ガッ
!!



爆発…
何かの事故か？



いや…違う
あの姿は…！



まったく…
いい加減にしてよね
こんな真夜中に
仕掛けてくるなんて…

早く終わりにしましょ
夜更かしはお肌に
悪いんだから！

あれが…かの有名な
セーラー服美少女戦士の
セーラーヴィーナス…？

本物だ…！
初めて…見た…

ドキン…





ガクン

ククツ…弱いな
口ほどにもない…

……ん？



死ねえっ！
ラーヴィーナス
……！！

ハッ

10

ハッ



なつ…何者だ
お前は…！！

いつから
そこにいた
?!



ひっ…ああ…あつ
ぼ…化けもの…っ

うああああ
!!

チツ…見られたか
面倒な…!

ヴィーナス…次は
命をもらおうぞ!



だ…大丈夫?
しっかり…!

この姿じゃ…
とにかく
運ばないと…!

まだ…信じられない
セーラー戦士が本当に
僕の前に現れたなんて…

……

て…敵は？
どこに…いるの…？

あっ…
気がついた！

アキラ

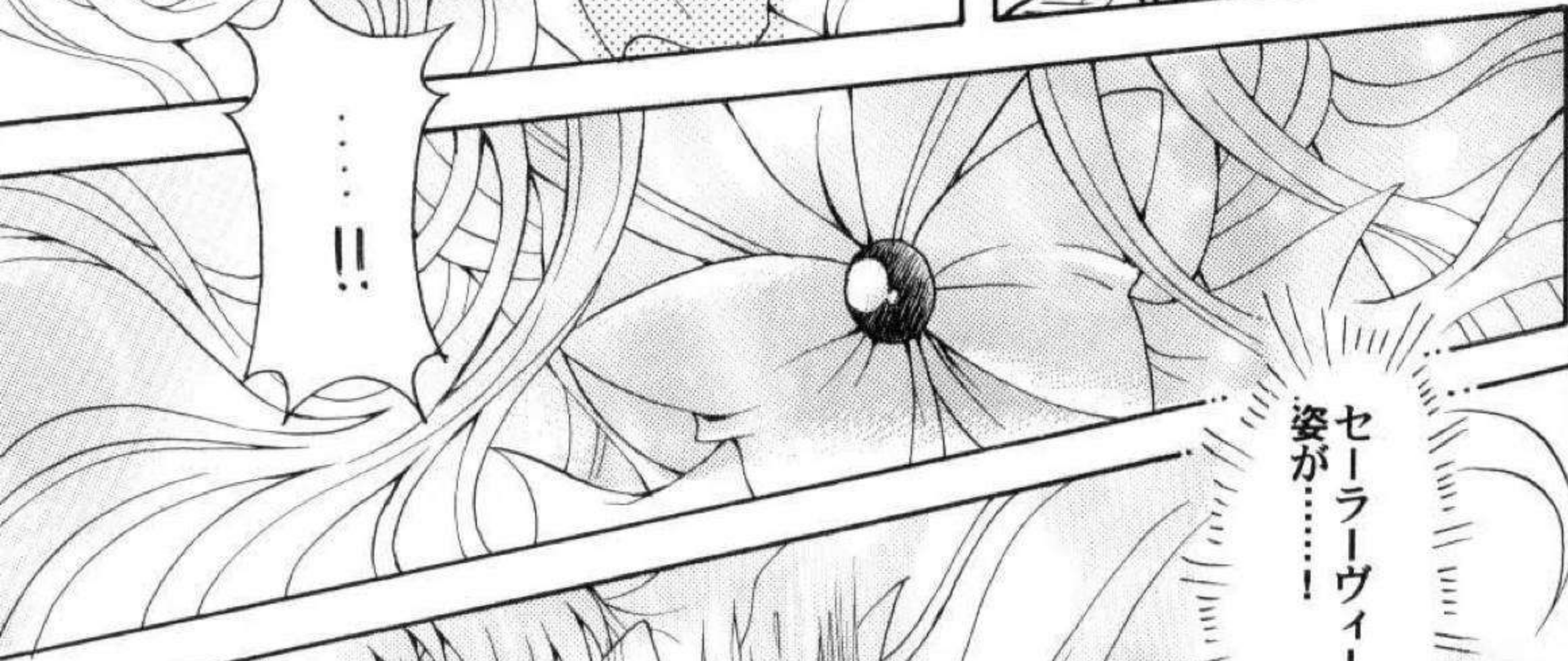


そ...う...
よかつ...た...



ま...まだ
動かない方が...

さっきの化け物なら
大丈夫...もう
何処かへ消えたよ



!!



セーラーヴィーナスの
姿が.....!!

ムウ...

これが…
彼女の正体…？

お礼…言わなきゃ
助けてもらったん
ですもの…

だけどあなたは
見てしまったわ
セーラーヴィーナスの
正体が…私だって…

この娘が…変身
してたのか…？
セーラーヴィーナスに
……………

お願い…この事は
誰にも言わないで！

そのかわり私…
何でも…するわ…

そんな…僕は別に
誰にも言わないし
何もしないよ

約束する

お願い…!

…
…
…
ありがとう…

それが…僕と彼女の
初めての出会いだった
………

お待たせー！

そして…今日に
至る訳だが

彼女を連れて
歩くと必ず人々の
視線が集中する…

見て…あの娘
すっごいスタイル！
脚長いよね…！

ハーフみたいだし
たぶん芸プロの娘でしょ
いいな…キレイで

彼女は可愛いのに
隣の男は冴えないね
まさか援交…？

今までとは
まるで違うが…正直
悪い気はしない

ほら：私って可愛いし
魅力的な上に変身まで
できちゃうでしょ？

だから正直あなたには
絶対凄惨な事された後
売り飛ばされるって
思ってたのよ…

そ…
そう…？

だけど…あなたは
何もしなかった

ちゃんと約束
守ってくれてる…



大人の魅力溢れる
私って子供受け
しないのよね…

いっ

だけど…
あなたの隣なら
私も釣り合うわ

そう思わない？

こうして…
彼女との楽しい
日々が始まった

でもいいの
私も子供には
興味ないし☆

僕は基本的に
彼女に何かを
要求した事はない

…ダメ

ただ…
一度を除いては…

それは
できないわ

どうして…？
見てみたいんだよ
君が僕の目の前で
セーラーヴィーナスに
変身する所を……！

……

あなたが私の姿で
喜んでくれるのは
嬉しいけど…

それだけは
どうしてもダメ…

セーラーズは…
私たちがセーラー戦士が
戦う為だけに纏う
神聖な戦闘服なの

誰かを楽しませる
為のものじゃないから
見せてあげられないわ



…!!

クッ!クッ!

こ…この気配は
あの時の…?

どうしたの?

こんなに真剣な
彼女の表情に
僕は圧倒されて…

もうこれ以上
何も言えなかった…



…
分かったよ

ごめん
無理言って…

…



来たわ!!

ククク…
セーラーヴィーナスよ
今日こそ決着を
着けてやるぞ…

セーラー戦士全員
皆殺しにしてやる…
覚悟するがいい!





ヴィーナースターパワー




ま...また
化け物が...!

あなたは
こっちへ...
早く!




メイク
アツプ!!



僕の目の前にいるのは
もう：愛野美奈子ではなく
紛れもなく美少女戦士の
セーラーヴィーナスだった…


あなたは隠れて
戦いが終わるまで…
いいわね？

あ…そうかわ
ひとついいかしら？




もし…私が
この戦いに敗れて…
無惨に殺されたら
火川神社に報告して

セーラーヴィーナスは
死んだ…って



そんな…!!
何て事言うんだ

私…いつも
こうして戦ってるの
怖くても…危険でも



変身するって
こういう事なのよ…

…!!

そんな…悲しい
顔しないで…

…フフツ♡

それじゃちよつと
行ってきまーす♪

私…きつと
戻ってくるから…

セーラー
ヴィーナス…



ククツ…地獄へ
落としてくれる
セーラーヴィーナス!

この間の続きね…
早く片付けなきゃ

彼女は必死に
戦い続けてるのに
………

僕に出来るのは
ただ待つ事
だけなのか?

いいわ…
望む所よ

あなたは幸せだわ
最後のデートのお相手が
あの人気者
セーラーヴィーナス
なんですからね…

生意気な…
死ねええっ!





イヤよ…あなたになんて
絶対に負けないわ!

そうよ…私は
もう一人じゃ
ないんだから!

今日死ぬのは
悪いけど
あなたの方よ!

アッ!

アッ!

アッ!

おのれっ
言わせておけば
……!

怒りにまかせて
スキだらけね！
もらった！

ズズズズズズ

えいつ…

ぐおおじ…

クレッシェント
ビーム…！



や...やった...
倒したわ...!

うおお...おつ...
...うお...つ...!

もう一人いる...!
今日は仲間を
連れてきたのか...?

や...やりおったな
ヴィーナス!
もう許せん...!

今お前を...
木っ端微塵に
してくれるわ...!

銃...?!



カチカチ...

カチカチ!



やめろっ…
撃つな!

な…何を
放せえっ…!!



くらえっ!

ヴィーナス
危ないっ!



バッ!!





終わったわ
.....

シューウウ...



良かったわ
あなたが無事で...



ありがとう...
あなたが助けて
くれなかったら
私...死んでたら

初めて近くに
彼女を感じる
...いい匂いだ...

アッ



もしかして私の
戦ってる姿で
興奮しちゃったとか？

えっ……

ストロベリー
ストロベリー

あ……うあつ……
それは……っ！



あら……？

どうしたの？
こんなにして……

スル

しまった……！

クワッ！



もう……
仕方ないわね♡

えっ……？

ほんの……少しだけでも
してあげても
……いいわよ♡

フフツ♥
どうかしら
こういうの…？

本当はずっと
私のこんな姿…
見たかったんでしょ？

夢みたいだ…まさか
セーラーヴィーナスが
こんなこと…
してくれるなんて…

ス…ス…

ええ…特別にね
さつきはすごく
頑張ってくれたし
手…だけなら♥

う…あつ…

あはっ…♡
すごく大きく
なってるわ…♡

ねえ…
きもちいい？

僕のを包み込んで
優しく
しごいてる…！

ああ…
セーラーヴィーナスの
純白のグローブが…

うん…気持ちいいよっ…
こんな感触
初めてで…あつ…！

フフツ…
良かった…♡

あ…
はあ…
はあ…

あ…
あ…

あ…

あ…



そんなに私の手が気に入ったの？

それじゃ…もつと気持ちよくなつて♡

うああっ…♡
あ…あっ…!!

滑らかなグローブが吸い付いてくる様だ…手で…してもらうのがこんなにいいなんて…!!

あ…!!
うあぁ…!!

あつ…!!
そんなに…したら…!!

あん…っ♡
すごく硬いわ♡

うああっ…♡
あつ…!!

もう…射精るっ…
射精るよっ…!!



あ…ああつ…
イクうう…!!

射精るっ…
!!

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…



あ…あ…

あ…あ…



いいの
気にしないで♥

あつ…

あつ…

う…うん…

あら…今
射精したの…♥
もつとしたいの?

あ…あ…



今度は
おうちで…ね♥

ムロツ…



えっ?
?!:

フフフフ

ムロツ

ムロツ



ああっ…
は…早くっ…!!

ムロツ♥

ふふっ…可愛い♥
そんなにお願ひされたら
断れないじゃない♥

キョッ
キョッ



う…ああ…っ
ああっ…!!

ムロツ!

ムロツ!

ムロツ

ムロツ

ムロツ

ムロツ!

ムロツ!

セーラーヴィーナスの
柔らかい舌が
からみついてくる…!!



綺麗だ…
よく似合ってるよ
セーラーズ…

んんっ…!



もう…
上手いんだから
ほんとに
見るだけよっ!



これで…いいの?

すごい…
誰もが憧れるあの
セーラーヴィーナスが
こんな…近くに…



戦闘服姿で
こんながいい匂いを
させてるなんて…
やらしいよヴィーナス…

や…ああつ…
舐めないでっ…!



すごく濡れてる…
僕のを舐めて
感じてたんだ？

あぁ…っ♡
ち…ちが…っ

グンッ！

フムッ

フムッ



セーラーヴィーナスも
気持ちよく
してあげる…

だから…もっと
ヴィーナスの身体…
見せて欲しい…

は…恥ずかしい…
全部見られるなんて
………！

フムッ

フムッ

い…やあ…っ！
やめてえ…！！

ぐんッ！

セーラー戦士って
Hな事されるの
好きなんだね！

や…ああつ…！
そんな…こと…
あんつ…

No No No

ポロッ

私…戦士なのに
こんなの…
いけない事なのに…

こんなに…奥から
溢れてくるなんて…
もう…我慢できないの…

フマッ

はあ…

はあ…

フマッ

ビクッ

もう…挿入れても
いいよね？
セーラーヴィーナス…♡

あんっ…
ダメえっ…！！

アッ…アッ…

あ…あああっ♡

皆が憧れるあの
セーラーヴィーナスが
自ら腰を振るなんて…

ああんっ♡

あんっ♡

い…いやあっ
ちがう…わっ…
そんなんじや…！！

アッ…アッ…

いいよ...
隠さなくても

今...君は
僕だけの
セーラー戦士
なんだから...

えっ...♡

ドキッ

ダメ...
やめなきゃ...って
思ってるのに...

...いいの?

ジッパッ
ジッパッ

もう...やめられない
気持ちよすぎるっ♡

ジッパッ

私...こんな姿で
気持ちよくなってる
やらしい戦士なのに
.....!

身体が...
いうことを
きいてくれないの

ジッパッ

ジッパッ

ジッパッ





す…好きだ
セーラーヴィーナス
……!

や…あぁっ…
は…激しいっ…♡



そんなに…私のこと
想ってくれてるなんて
……!

ほんとに…
?

最高だよ
こんなセーラー戦士が
彼女だなんて…!

キーン

はぁっ
はぁっ

あ…ああんっ♡
すごい…っ♡

もっど…してえ♡
は…ああんっ…♡

あん…

あ…

ああん…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…

ズッ…



ヴィーナスの膣内…
凄くキツいの…
ヌルヌルで僕に
絡み付いてくる…

うっ…あぁっ…
気持ちいいっ…!

いいのよ…っ
そのまま膣内に
射精してえっ…!

くっ…あぁっ!
このままじゃ膣内に
射精する…っ!

ゴメンもう
外に…っ!

あんっ♡
ダメえっ!

私…あなたのものに
なりたいの…
おねがいの…♡

セーラー
ヴィーナス……!

分かった……

きやつ……!

あんっ……そうよ……
私もいつしよに……
は……ああんっ……!

はあ……

はあ……

あ……

くっ……!

もう……射精るっ!
膈内に射精すよっ……
あ……ああつ……!

あんっ……奥に……当たるのお
気持ちいいのっ……
い……イクうっ……!♡♡

あん……

あ……

あつ…あああつ…
あんつ…
♡♡

ああんつ…♡
射精てるっ…!
私の膣内に…♡



それから彼女は…
僕の願いを
叶えてくれる様になった

僕だけの
セーラー戦士として
……………

えっ…
また見たいの？
仕方ないわね…♡

どう…♡
似合うかしら？



前書き&後書き

皆様こんにちは。あまりのガソリン高で車に乗れず、遂にバッテリーを外してしまった今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。レギュラー140円なんて貧乏極まりない私にはとても出せるようなお金ではありませんよ。レギュラー80円の時ですら、何とかやり繰りしてガソリン代出してたわけですし…。満タンにすると7000円ですよ!前は4000円ちょいだったのに…。そんなわけで最近専らホームセンターで買った自転車で生活してます。7000円の聞いたことのないメーカー製ですが…。なんか真っ直ぐ走らないし、異常に重いし、変速ギアも付いてないし、買って一週間で錆が浮いてきたし…。な感じですが車より安いので致し方ないと貧しさを噛みしめてペダルをこぐ毎日です。ここまでガソリンが高くなってしまっただけで私のような貧乏人は行く行くは車を手放すことも考えねばいけないのかもしれない…。

さて今回の本ですが、とうとう私の病気も手の施しようがないくらいの末期症状に突入したようで、セーラーヴィーナスとデート本などという顔から火が出るような恥ずかしい漫画を描いてしまったようです…。何とも言いようのないとにかく恥ずかしい本ですが、私のようにこの歳になってもまだセーラー戦士との結婚を諦めていない同志の皆様方に少しでも喜んでいただければと恥も外聞もかなぐり捨てて描いてみました…。私の病気も誰かに喜んでいただければとあればこんなに報われることはありません。だって美人な上にあの衣装に変身もしてくれるんですよ!セーラースーツって何て魅力的なんでしょう…。わしもセーラームーンに出会ってなければ少しはマシな人間だったかもしれません…。ってまあどうでもいい話ですが…。というわけでこんな感じの本を今後とも全戦士分作れたら何て思っておるのですが…。ダメでしょうか?

さて、次回新刊ですが…。ってこの本は夏の新刊なんですよね。予定では夏あわせに後もう一冊本を作る予定なんです。詳細まったく未定なんです…。ってこの原稿印刷所に送ったらすぐ取りかからなければいけないのですが…。どうしましょ…。で、その後は秋頃を目処にセーラームーンSSの映画本でも作ろうか何て今のところ思っています。外部戦士も出てきますし。全員登場の本にしようかと思っております。結構な厚さになるかもしれませんが、やる気だけはまったく衰えを見せない昨今、頑張っ作りますのでよろしくお願ひいたします。いつものように衣装を大切に脱がせずモ二ヨモ二ヨ…を心掛けて頑張る所存です。後は今年中にAnotherStory本も作りたいですね。えっと、相変わらずご意見ご感想のメールお待ちしております。携帯メールで下さる方が最近かなりいらっしゃるのですが、普段メールを出せる時間が真夜中なので携帯には送る時間としては芳しくない訳で、昼時間を見つけてといった感じになりましてかなりお返事が遅れてしまいます。予めご了承下さればと思います。それではまた…。

僕の彼女はセーラー戦士

- 発行日 平成18年8月11日
- 発行元 小鳥事務所
- 連絡先 kotorijim@hotmail.com

※無断転載、無断複写を禁じます

For Adult

僕の彼女はセーラー戦士